

〔 2026尾張小学生記録会 競技注意事項 〕

- 1 本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技要項によって行う。また、小学生については、友の会ルールを適用する。本大会は、日本陸上競技連盟公認競技会として実施するが、ワールドアスレティックス（WA）のワールドランキングコンペティション（WRk対象競技会）としては実施しない。そのため、競技会でも出された記録は国内の公認記録としては認められるが、WAワールドランキングや国際大会（オリンピック・世界選手権など）の参加資格など、WA記録集計の対象とはならない。
- 2 小学生については友の会ルールに従って行う。
- 3 競技場への入退場について
 - ・観戦・応援については正面スタンドおよび芝生スタンドのみ可とする。
- 4 アスリートビブスについて
 - ・競技者は必ずアスリートビブス（規定のもの）を胸・背部に確実につける。
- 5 招集について
 - ・すべての種目において、競技時間表記載の招集時間に招集所（スタンド下競技者係控室前）にて招集を受ける。
 - ・招集完了時刻に遅れた競技者は欠場するものとして処理する。なお、他の出場種目の競技時間の関係で招集時間に招集を受けることが難しい場合は、事前に招集所に申し出る。
 - (1) トラック競技
 - ・トラック競技においては腰ナンバーカードを使用する。招集時に受け取り右腰につける。
 - ・腰ナンバー標識は、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
 - ・リレーについては4人揃って招集を受ける。リレーオーダー用紙は招集完了1時間前までに招集所に提出する。
 - ・招集完了後は、スタート時間10分前にスタート地点に集合し、最終コールを受ける。
 - (2) フィールド競技
 - ・招集完了後は、招集完了時間をめどに競技場所に集合する。
 - (3) 招集開始時刻および招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	〈招集開始時刻〉	〈招集完了時刻〉
トラック競技	30分前	20分前
跳躍競技	40分前	30分前
投てき競技	40分前	30分前

- 6 競技場所への移動と解散について
 - (1) トラック競技
 - ① 最終コールを受けていない選手は競技に参加できない。
 - ② スタート練習は、スタート地点集合以降、役員 の指示に従って行うこと。
 - (2) フィールド競技
 - ① 招集開始以降すみやかに競技場所に移動し、競技終了まで競技役員 の指示に従って競技場内で練習を行うこと。競技場以外での投てき練習は一切禁止とする。
 - ② 特に、投てき競技については危険をとまなうので勝手な行動はつつしむこと。競技前、競技中の練習で使用できる器具はタオル等、人に危害を加えないものに限る。
 - ③ 退場は、跳躍および投てき競技役員 の指示・誘導により行う。

7 走路順・試技順について

- (1) トラック競技の走路とフィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号順とする。
- (2) 欠場者のレーンは空ける。

8 競技について

- (1) トラック競技はタイムレースで行う。1/100 秒単位で同タイムの場合は、1/1000 秒単位で判断する。
- (2) セパレートレーン使用の競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全のために、自分に割り当てられたレーン〈曲走路〉を走るものとする。
- (3) 同一選手がトラック競技とフィールド競技を同時刻に兼ねて行う場合は、トラック競技を優先とし、フィールド競技は同一ラウンドにおいて競技役員の許可を得て順序を変更することができる。
- (4) フィールド競技における競技開始前練習は競技役員の指示によって行う。
- (5) 走高跳のバーの上げ方については下記のとおりとする。(変更もあり得る)

小学生男子走高跳(練 0.80・0.95) 0.80 0.85 0.90 0.95 1.00 1.05 1.10 1.15 1.20 1.25 1.30 以後 3cm

小学生女子走高跳(練 0.80・0.95) 0.80 0.85 0.90 0.95 1.00 1.05 1.10 1.15 1.20 1.25 1.30 以後 3cm

9 競技器具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意した物を使用する。

- 10 スパイクピンの長さは8mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。
- 11 プログラムの印刷と異なる場合等は、早めに本部の庶務担当に申し出て訂正してもらうこと。
- 12 抗議にあたっては、記録が発表された時間を基準とし、30分以内に本部(総務員)に口頭で申し出ること。
- 13 競技中に生じた事故については、応急処置はするが以後の責任は負わない。
- 14 各団体の控え場所は、スタンド・国旗掲揚塔を除くトラック外周を使用可とする。
- 15 ウォーミングアップについて
 - (1) 競技開始前のホームストレートにおけるウォーミングアップは競技開始15分前までとする。ウォーミングアップ時のジョギングに関してはトラックの内側で競技会準備の支障にならないように行うこととする。集団でのジョギングは禁止する。ホームストレートと第4コーナー出口付近では接触の危険性が非常に高いので、係の指示に従うこと。
 - (2) 競技中のトラック使用のウォーミングアップは下記の条件付きで認める。
 - ① 場 所：第1曲走路の中間地点から第2曲走路の中間地点手前。(5～8レーンを使用する)
 - ② ウォーミングアップ、レーンを使用した疾走は競技で使用していない5～8レーンにて行うこと。また、バックストレートの1～4レーンは常時、スターティングブロックを使用したスタート練習を逆走で使用する。スタート練習については、この指定された場所のみで行うこと。
 - ③ 種目間、組間の空白時間帯で準備に支障をきたさない時。

- 16 監督・コーチ・顧問はスタンドから撮影した競技中の映像を見せるために、情報機器を選手に渡してもよい。

17 その他

- ・記録の発表は上位競技者のみ放送にて行う。記録の掲示は行わないが、速報サイトに期間限定で掲載する。なお、後日、リザルトを愛知陸上競技協会HPに掲載する。
- ・応援はスタンドで行うこと。応援にあたっては競技進行を妨げないようにすること。
- ・清掃・ゴミ処理は、各団体・学校・各自で責任をもって行い環境美化に努める。ゴミは各自で持ち帰り、自宅で処分する。

- ・その他、競技役員の指示があった場合はその指示に従う。
- ・暑熱対策のため管理棟1階会議室をクーリングルームとして利用ができる。ただし、チームベンチとしては利用できない（荷物を置きっぱなしにしない）。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

監督・コーチ・顧問以外の写真またはビデオ撮影について

※本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、スタンドのみとします。禁止された区域では撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

- ・選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしたりしているなどの準備を行っているとき。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

